

# 故事成語

——登竜門

とうりゅうもん

是の時朝廷日に乱れ、

綱紀地に頽つ。

膺独立り風裁を持し、

以て声名自ら高し。

士の其の容接を被る者有れば、  
名づけて竜門に登ると為す。

当時朝廷は日に日に乱れ、

綱紀が退廃していた。

李膺だけが品格を保ち、  
名声が高まつていった。

士で李膺と親交がもてるようになつた者がいると、

「竜門に登つた」と言われた。

〈『後漢書』より〉